

平成30年度第1回大人のためのブックトークを開催しました

平成30年5月26日(土)、今年度最初の「大人のためのブックトーク」を開催しました。昨年度に引き続き、情報科学芸術大学院大学(IAMAS)の小林昌廣教授による、熱く楽しいトークが行われました。

小林昌廣 IAMAS 教授によるブックトーク



<当日紹介された本>

「台所のおと」

幸田文 講談社文庫 (1995年)

「私はすでに死んでいる」

アナンサスワーミー 紀伊國屋書店 (2018年)

「円生と志ん生」

井上ひさし 集英社 (2005年)

岐阜県図書館 笠原明香司書によるおすすめ本の紹介



「ピンク、ぺっこん」

村上康成 徳間書店 (2000年)

「里山資本主義」

藻谷浩介 角川書店 (2013年)

「みつばち高校生」

森山あみ リンデン舎 (2016年)

「星野道夫と見た風景」

星野道夫 新潮社 (2005年)

○感想等

- ・ご紹介いただいた本の面白さが伝わり、興味深く聞かせてもらえました。
- ・お話も大変楽しかったですが、お色直しされる先生は初めてだったので帰って主人に話して聞かせたいです。
- ・内容が幅広く聴きがいがあった。
- ・小林先生の講座はほかでも出席させて頂いてますが、大変気に入っています。とても素晴らしい講座でした。
- ・初めての参加。目の視力が落ちて本を読むのが苦手になっているので、紹介していただくと興味が出て頑張ってみようと思えます。とても参考になりました。小林先生の講義は脳の覚める感じがあります。
- ・楽しみにしていた本年度の初回のブックトーク。期待通りの内容であつという間の1時間15分でした。また次回も楽しみです。大好きな幸田文さん再読したいと思いました。
- ・初めて参加しました。司書の方、先生の本の紹介、要点をわかりやすく教えていただき、今後読む本の参考になり、ありがたい。次回も参加したい。